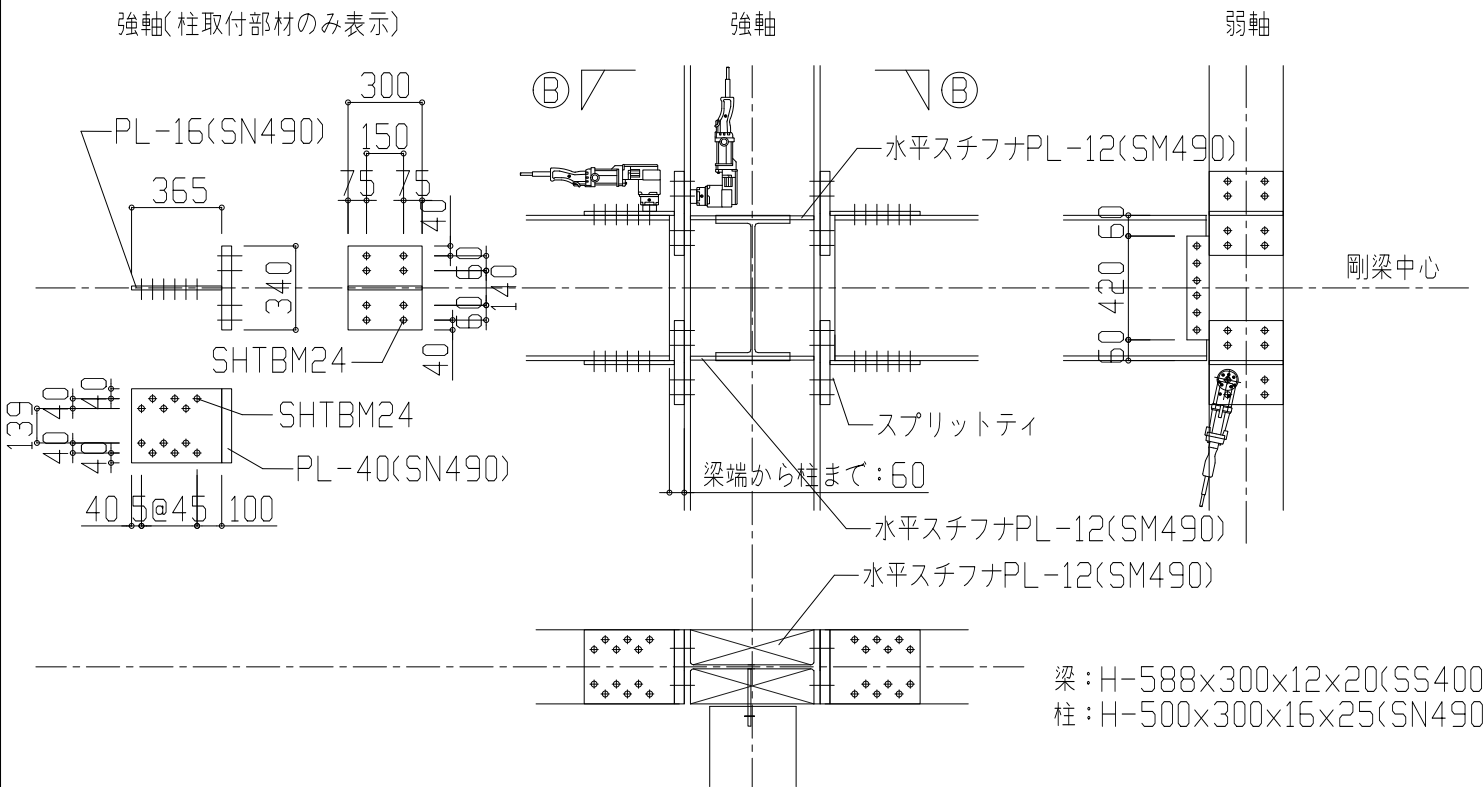


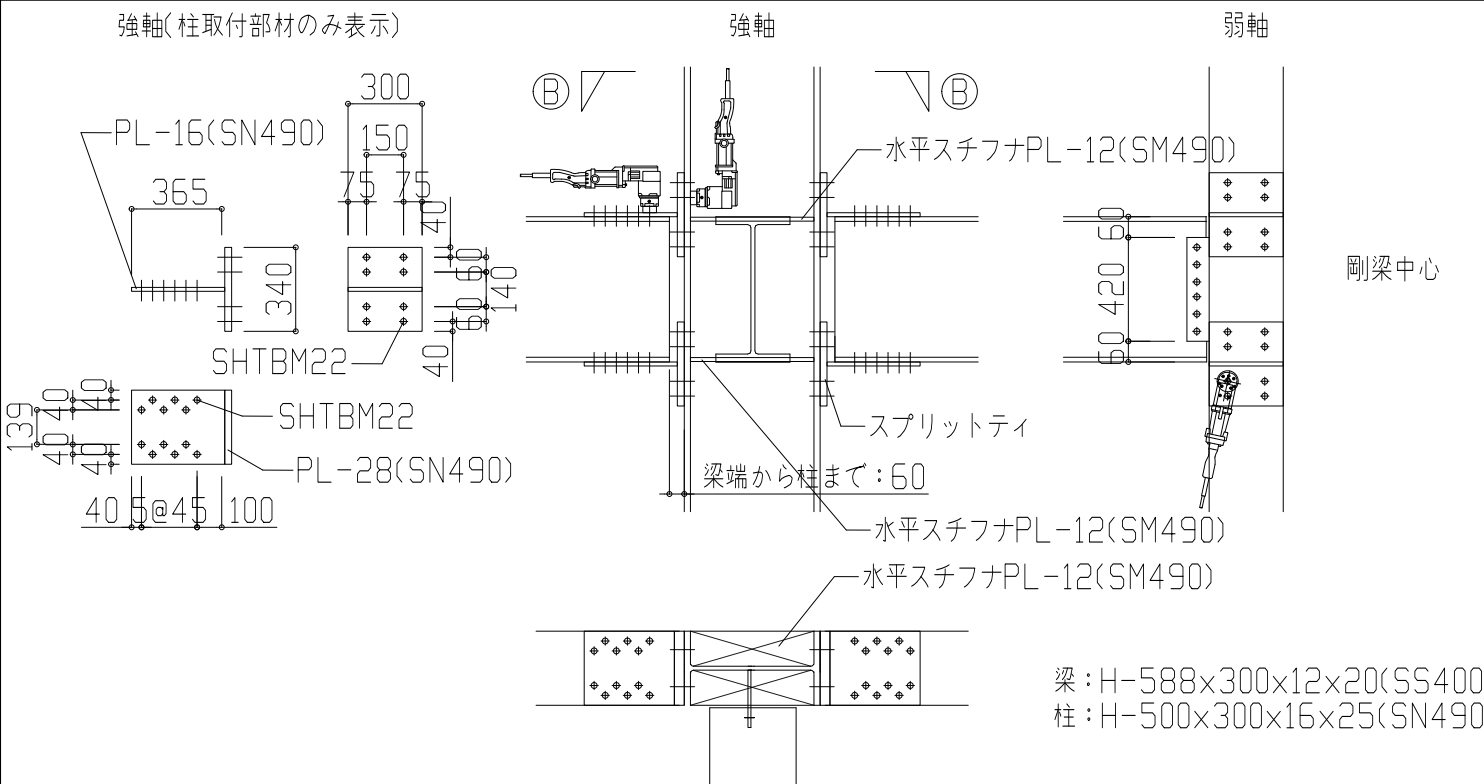
## CASE1

G58スプリットティ接合部：G58の降伏耐力まで初期剛性がとれるパターン



## CASE2

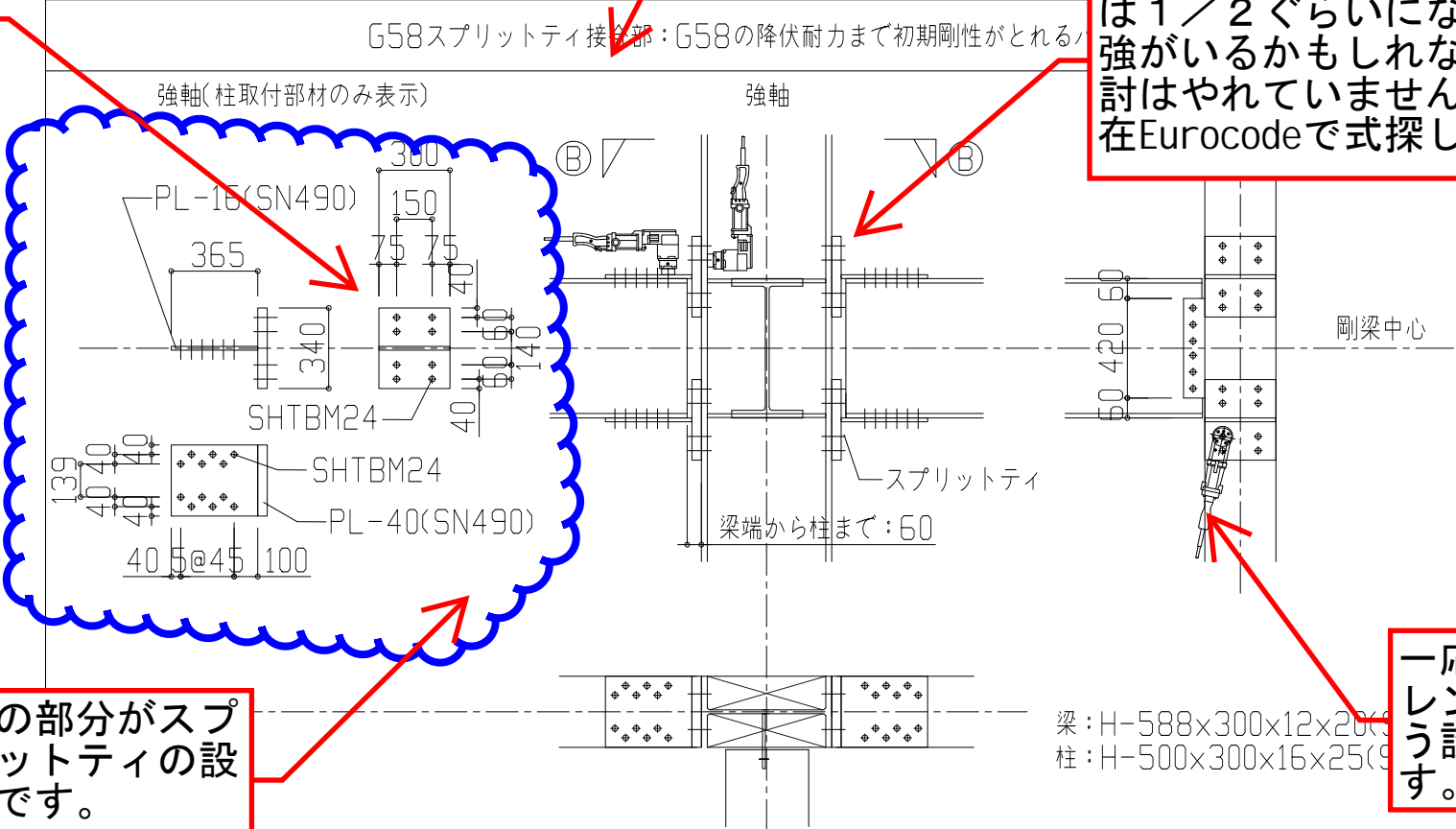
G58スプリットティ接合部：G58の降伏耐力の2/3まで初期剛性がとれるパターン



そもそも、  
片側4本打ちのディテールっ  
て、ありなのかわかんない

$jMy > 1.5bMy$ ということ

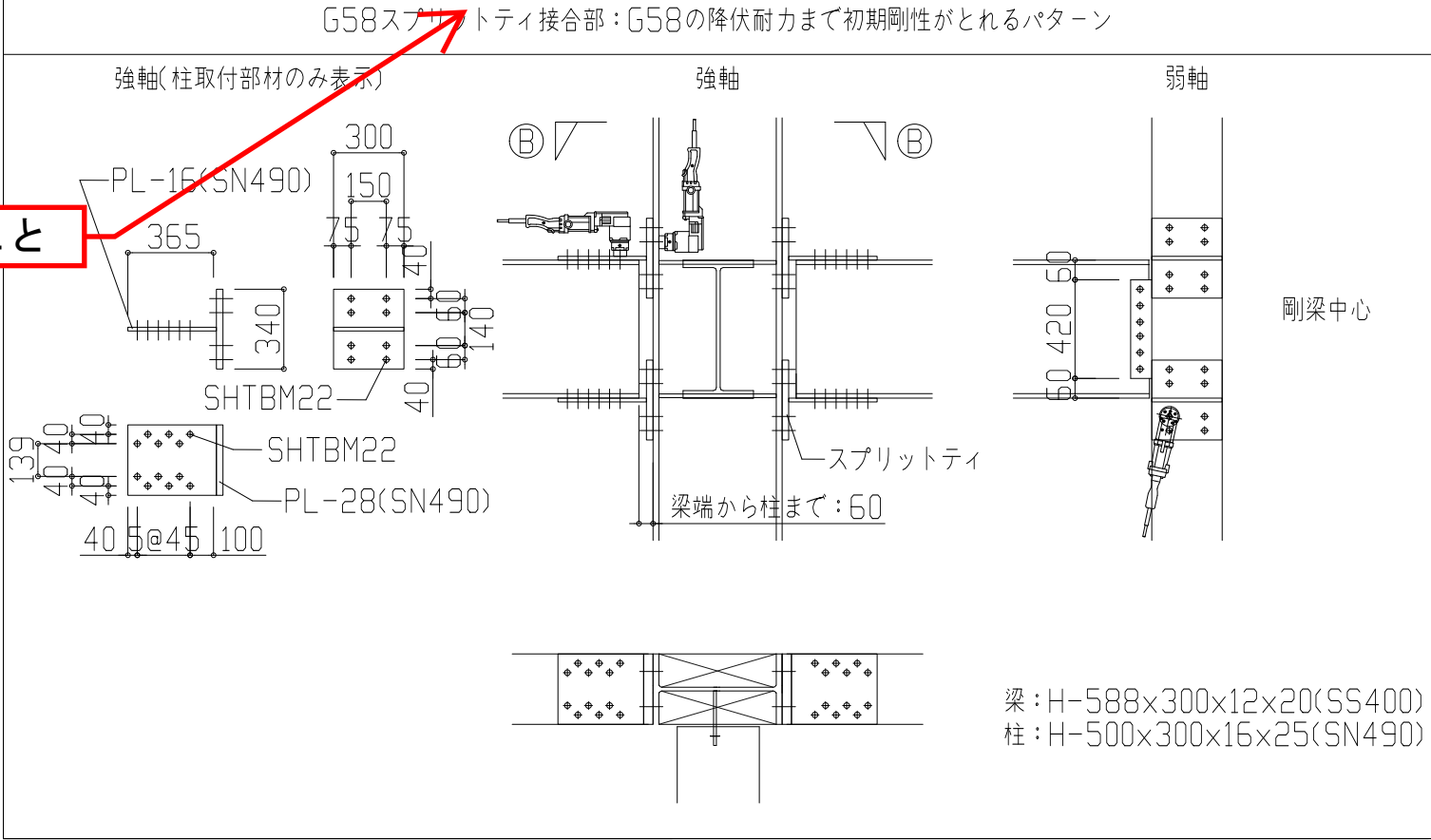
ティフランジの板厚に対して、柱フランジ  
は1／2ぐらいになっているので、別途補  
強がいるかもしれない。ちょっと柱側の検  
討はやっていません、といいますか現  
在Eurocodeで式探しています。



この部分がスプリットティの設計です。

一応なんとなく  
レンチが入るよう  
設計しています。

$jMy > bMy$ ということ



株式会社 アイ・テック

株式会社アイ・テック  
一級建築士事務所  
東京都知事登録 第53914号

一級建築士登録  
第363951号

朴 世万

特記

日付

照査

照査

作図

作図

工事名称

####

図面名称

スプリットティ接合部リスト

縮尺 A1 S=1:15  
A3 S=1:30

図面番号

S-301